

稲永ビクターセンター 震災時の避難方法のご案内

* 引率者の方へ

この度はご来館のお申込みをいただきまして、ありがとうございます。

稲永ビクターセンターでは、東日本大震災の発生を受け、震災時の避難方法について見直しをはかりました。当センターにお越しいただく際は、万が一の備えとして、この避難方法に事前に目を通していただき、緊急時にはご協力をいただきますようお願いいたします。

1.地震発生時(主に液状化や津波、火災が心配される大震災時の場合)

※避難場所、避難経路は裏面をご覧ください。

状況	地震発生直後の行動	津波の危険の有無	避難場所
館内見学時	まず身の安全を確保し、揺れが収まったら、センターの1階入り口(建物の外)に集合後、避難	津波の危険有り	市営住宅(みなと荘)
		津波の危険無し	稲永スポーツセンター
観察会時 (永徳スリップに いるとき)	すぐに干潟から上がり、集合後、避難	津波の危険有り	市営住宅(みなと荘)
		津波の危険無し	稲永スポーツセンター

※現在の東南海・南海地震の被害想定では、居住区域への浸水は予想されていませんが、当センターは防潮堤の外に立地しているため、高い建物への避難をします。名古屋港への津波到達は地震発生約90分後と予想されおり、避難には十分な時間があるとされています。落ち着いて行動してください。

2.津波警報、大津波警報発令時

揺れを感じなくても、津波警報及び大津波警報が発令された場合は市営住宅(みなと荘)に避難します。(避難経路は震災時と同様、裏面をご覧ください。)

3.東海地震注意情報、予知情報発表時

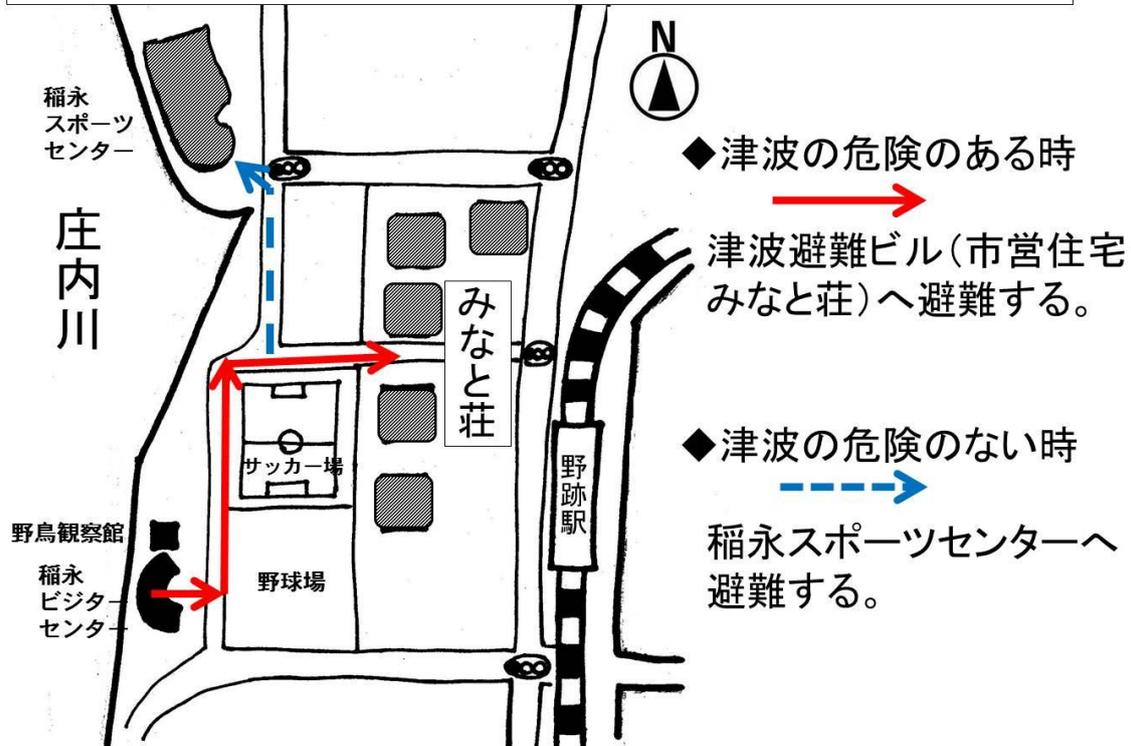
東海地震注意情報及び予知情報(警戒宣言)が発表された場合、当センターは閉館しますので、原則、速やかに帰宅していただくようお願いします。帰宅が困難な場合は稲永スポーツセンターへ避難します。

◆注意事項◆

- ① 災害発生時には館内スタッフの指示に従って、冷静に行動してください。
- ② 引率者の方は、避難誘導の協力をお願いします。
- ③ 避難経路・場所等は、状況に応じて変更することがあります。

稲永ビジターセンター館内からの震災時避難経路

(2013年4月現在)



干潟観察会での震災時避難経路

(2013年4月現在)

